

I. 広東省

1. 広汽トヨタが南沙区で建設中のグローバルな最先端工場を公開

●8日、メディアが広汽トヨタの第3生産ライン建設現場へ初めて見学に入るとともに、広汽トヨタが対外的に進捗状況を報告。現在、全体の約75%が完成しており、早ければ来年9月初旬にテスト生産が始まる見込み（11月9日付『南方日報』）。

2. 中央宣伝・講演団が広東省でプレゼンテーション

●9日午後、中央の統一的な段取りに基づき、吳玉作・中央紀律検査委員会副書記（中央宣伝・講演団メンバー）が広州市で第18期六中全会の精神についてプレゼンテーションを行い、胡春華・省党書記が報告会を主宰し講話を行なった（11月10日付『南方日報』）。

3. 胡春華・省党書記がシスコCEOと会談

●9日午後、胡春華・省党書記とシスコCEOとの会談後、朱小丹・省長が省政府とシスコ社による戦略的協力枠組み協定の署名に立ち会った（11月10日付『南方日報』）。

●9日午後、省政府とシスコ社が枠組み協定に署名後、恵州市政府とシスコ社が協力協定に署名（11月11日付『南方日報』）。※潼湖科学城の建設で協力。

4. 国際博物館ハイレベル・フォーラムの開催

●10日、深圳市で上記フォーラムが開催され、習近平・国家主席が祝辞を送り、劉延東・副総理が開幕式でそれを代読するとともに挨拶をした。胡春華・省党書記、朱小丹・省長、江小涓・國務院副秘書長が開幕式に出席（11月11日付『南方日報』）。

5. 何忠友・副省長が下村聡・JETRO理事一行と会談

●10日午前、上記会談で何忠友・副省長は、双方が意思疎通・交流を強化し、より多くの先端技術、先進的理念と成功経験を導入し、先進設備製造業、精密計器加工、新素材、物流、医療サービス等の分野における協力を促進し、その協力が新たなステップへと踏み出していくよう推し進めていきたいと述べた（11月11日付『南方日報』）。

6. 省党常務委員会議の開催

●11日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、習近平・総書記の第3四半期までの経済動向に関する重要講話の精神を伝達・学習し、気を緩ませずにしっかりと年末までの各業務を実行し、本年の目標任務の達成を確保しなければならないと強調（11月12日付『南方日報』）。

7. 胡春華・省党書記が蕭万長・兩岸共同市場基金会名誉董事長と会談

●11日午後、上記会談で胡春華・省党書記は次のように述べた。省党委員会、省政府を代表して蕭名誉董事長一行の広東省訪問に歓迎の意を表すとともに、蕭名誉董事長が長期にわたり「九二コンセンサス」を堅持し、兩岸交流・協力を力を注いでいることを高く評価している。兩岸共同市場基金会、兩岸企業家リーダーズ・サミットが意思疎通チャネルの役割を更に発揮し、広東省と台湾によるイノベーション・起業、科学技術、金融、設備製造業等の分野における交流・協力が深まるよう推進し、協力の次元とレベルを絶えず向上させていっていただきたい（11月12日付『南方日報』）。

8. 孫文生誕150周年記念集会の開催

●12日午前、広東省各界代表が広州市の中山紀念堂に集まり、民族の偉大な英雄・偉大な愛国主義者・中国民主革命の偉大な先駆者である孫文の生誕150周年を記念した。胡春華・省党書記が出席し講話を行なった。朱小丹・省長、黃龍雲・省人代常務委員会主任も出席。王榮・省政協主席が主宰（11月13日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 任学鋒・市党書記がアメリカ科学振興協会（AAAS）会長と会談

●7日、任学鋒・市党書記がデビッド・ボルティモアAAAS会長と会談し、ボルティモア教授と中国科学院広州バイ

オ医薬・健康研究院といった機関・企業の協力が新たな進展を得られるよう希望すると述べた（１１月８日付『広州日報』）。

※デビッド・ボルティモア教授：１９７５年ノーベル生理学医学賞受賞メンバー、元カリフォルニア工科大学総長。

2. 任学鋒・市党書記が米国コーエン国際戦略コンサルティング・グループCEO一行と会談

●７日、任学鋒・市党書記が米国コーエン国際戦略コンサルティング・グループCEO一行と会談し、バイオ医薬、健康サービス、製品の品質検査、保険等の分野への投資を希望（１１月８日付『広州日報』）。

3. 任学鋒・市党書記がシスコCEO等と会談

●９日、任学鋒・市党書記がシスコCEO、フォックスコン・グループ董事長、韓国ヒュンダイ自動車グループ副会長、TCL集団董事長、深圳怡和通サプライチェーン株式会社董事長と会談。起業家の皆さんがチャンスをつかみ、広州市で投資し、ハブ型企業をリードしていく役割を果たし、広州の産業イノベーション・クラスターの発展を進めて行きたいと述べた（１１月１０日付『広州日報』）。

4. 2016年世界経済フォーラム・ビジネス円卓会議の開催

●１０日、広州市で「戦略的業界のデジタル転換」をテーマとする上記会議が開催された。任学鋒・市党書記が開幕式に出席し、世界経済フォーラム中国エリア代表や一部の来賓と会談し、広州ハイテク科学技術成果展を見学し、一部のテーマ部会に参加した（１１月１１日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 中国（深圳）国際金融博覧会が閉幕

●７日午後、国内３大金融展覧会の１つである中国（深圳）国際金融博覧会が閉幕した（１１月８日付『深圳特区報』）。
※約３００の金融機関、約１,０００人の企業家が展覧会に出展。本年８月末までに広東自貿区前海エリアで登記した融資リース企業数は１,２００社に達し、全国の３分の１を占めている。本年上半期、前海エリアの金融企業の付加価値額は約２１８億元（前年同期比６２.３％増）で、前海地区の付加価値額全体の約５４％を占めている。金融業態等の刷新に関しては、微衆銀行（全国初の民営ネットバンク）、玉山銀行（深圳市初の台湾資本による銀行）、前海招連消費者金融（CEPAの枠組みでの初の消費者金融会社）、マザー・ファンド管理公司（香港資本）、前海再保険（全国初の混合所有制による再保険公司）等がある。

2. スカイワース集団が中国宇宙事業において戦略的パートナーに

●先頃、中国航空・宇宙基金회가スカイワース集団を中国宇宙事業における戦略的協力パートナーに認定し、プレートを授与する式典を行なった（１１日付『深圳特区報』）。
※スカイワースは２００３年「神舟５号」打ち上げの際、セキュリティ・モニタリング装置を製造した経緯がある。同基金회는航空・宇宙に関する学術研究資金の援助、人材育成、技術研究・開発等を支援。

2. 深圳市政府とアリババ、アリ金融サービスが戦略的提携

●１１日午後、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、馬雲（ジャック・マー）アリババグループ董事局主席立会いの下、深圳市政府とアリババグループ、アリ金融サービスグループが戦略的協力枠組み協定に署名。深圳アリババセンターが正式にスタート（１１月１２日付『深圳特区報』）。

3. 孫文生誕150周年記念アーカイブス展が開幕

●１１日、深圳市で上記展覧会が開幕し、馬興瑞・市党書記をはじめとする市指導者が孫文の若い頃の記念写真、中国同盟会に関する文献、臨時大總統就任時の宣誓、建国プラン地図等を見学（１１月１２日付『深圳特区報』）。

4. 馬興瑞・市党書記が中国浦東幹部学院で講演

●１２日午前、中央組織部のアレンジで、馬興瑞・市党書記が中国浦東幹部学院「省・部クラス幹部による改革開放の深化をテーマとした研修クラス」で報告を行い、「深圳の新たな改革開放の実践と思考」というテーマについて、研修に参加している省・部クラス幹部の学生たちと討論・意見交換を行なった（１１月１３日付『深圳特区報』）。